

授業計画書 (シラバス)

教科名	キルンワーク I	曜日 時間	水曜日 9:10~15:50	担当教員名	松藤 孝一
-----	----------	----------	-------------------	-------	-------

		前期指導案		後期指導案	
年 間 授 業 日 (2 回)	4月	16	23 30	10月	1 8 15 22 29
	5月	7	14 21 28	11月	5 12 19 26
	6月	4	11 18	12月	3 10 17
	7月	2	9	1月	
	9月			2月	
方授 法業	(講義 ・ (実技))			(講義 ・ (実技))	
授業 内容	<p>素材としてのガラスを学びながら、キャスト ィング、パート・ド・ベール、フュージング、ス ランピングといったキルンワークの基礎技術を 修得していくことになる。</p> <p>スケッチブックは、アイデアを整理そして発展 させていく上で有効であり、その記録が担当教 員とのコミュニケーションに役立つ道具として 活用される。</p> <p>同様に制作データ（ガラスの配合や電気炉の温 度スケジュールなど）をスケッチブックに記録 させる。</p> <p>講評日は7/9になります。</p>			<p>キャストィングの応用として、ロスト・ワック スの技法を学び、新たな造形表現を習得する。 後半では、前期に学んだ素材や技術をベース に、新たな表現の手法を探し求める。</p> <p>授業を通して、学生が、素材や技法、プロセス をトータルで考え始める機会にする。また、作 品の最終展示まで責任を持たせて制作させる。</p> <p>講評日は12/17になります。</p>	
到達 目標	この授業では、キルンワークの基本的な技法 を修得することと同時に、素材の特性に気付く ことが目標である。			学生が、ガラスの表現として、素材、技術、ま たそのプロセスを総合的に考えること、また、 作品の最終展示まで意識を持たせて制作させる ことが目標である。	
成 績 評 価	成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／提 出期限の厳守／授業の目標水準の到達／出席状 況など。			成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／提 出期限の厳守／課題の完成度／個人の成長度／ 出席状況など。	
留 意 事 項	学生にとって初めてのキルンワークの授業とい うことで、学生に対して分かりやすい指導を心 がける。			2年次に問題なくキルンワークの制作が自分で 行えるように、年間を通してキルンワークの基 礎をしっかり身に付けさせる。	